

このたび日本の政府は、全国の高校の授業料を助成することを決定しましたが、朝鮮学校だけは国交の問題によって保留することになりました。それをめぐって賛否両論に分かれて、現在は文部科学省で検討中です。しかしながら国連の人種差別撤廃委員会は、去る三月一五日に、日本政府に対して差別しないよう働きびしい勧告をいたしました。

今日では、日本に住む外国人は二二万(二〇〇八年度)におよび、その国籍も一九〇カ国にわたり、ほぼ全世界の人々が来ているわけですから、国際結婚もふえて、日本はすでに多国籍、多民族社会になりつつあります。したがって学校も、朝鮮学校、韓国学校、中華学校、ブラ

**国家の論理を超えてこそ**  
信楽峻磨

安楽寺寺報

# 聞光

第55号  
降誕会号  
2010/5/21

発行所  
〒737-0054  
呉市上山田町2-28  
安楽寺  
0823-21-7561

ジル学校など各国の学校が二〇〇校も存在しています。いまはその朝鮮学校のみを差別して、助成金をださないというわけです。

この問題をめぐって、日本仏教の各教団は、政府に対して差別しないようにと要望し、京都の清水寺、知恩院、東本願寺などは、それぞれその意志を表明しています。ところが西本願寺だけは、まったく沈黙して関心を示しません。そこで全国の心ある真宗僧侶と真宗信者の百名近い方々の要望により、私は去る三月一七日に本山当局に対して、同じように差別しないという明確な態度を表明するように申し入れました。そして西本願寺教団は、



かつて日本政府が明治四三年(一九一〇)に、日韓合併という名のもとに韓国の植民地化をすすめたとき、いちばやく各地に百数十の寺院を設置し、その支配に協力したという重大な罪科を犯したではないか、その罪をつぐなうためにも、そしてまた、そういう過去の因縁によって、

現在日本の土地に生まれ、日本の社会に生きている朝鮮の高校生には、何の責任もないことです。もしもそういう差別をするならば、この生徒たちの心には大きな傷つき、その将来に重大な過根を残すことになるでしょう。だからこそ西本願寺教団も、その差別に反対すべきだと要望いたしました。

しかし、それから一カ月も過ぎましたが、この教団当局は何もいみません。私たちの要望はまったく無視したままです。この教団では、阿弥陀仏の慈悲とは無辺のもので、十方衆生にかけられていると説教しなが

ら、朝鮮の高校生にはおよばないというのでしょうか。真宗の教え、阿弥陀仏の慈悲は、みんなが平等に合わせを共有することの大切さを教えるものです。それは国境を超え、民族を超えてこそ語られるべきものでありましょう。いま西本願寺がさかんに呼びかけている、「世の中安穩なれ」という言葉の中には、朝鮮の国と人々が入っていないのでしょうか。

その点、今日の西本願寺が説くところの阿弥陀仏の慈悲とは、国家の論理の枠の中での話であって、かつてのアジア・太平洋戦争に際して、卵の生命を奪う殺生の罪を教えながら、国家の論理にしたがって、中国やアメリカ人などの生命を奪うことに賛成したと、同じあやまちをまた犯しているわけです。

真宗の教えは、国家の論理にまよわされてはなりません。そういう国家の論理を超えるところにこそ、まことの仏法、真宗の教えが確かに成りたつのです。

(二〇一〇・四・三〇)

**安楽寺マンガ通信**  
(第9回)  
信楽めぐみ作

**安楽寺夏の集い**

今年も昨年同様に「夏の集い」を開催いたします。仏教を源流とする落語とビアガーデンの集いです。笑ったあとで、ビール片手に語り合い、暑い夏を元気に乗り越えたいと思います。

つきましては下記の通り開催いたしますので、参加ご希望の方は、7月末までに申込書にご記入の上安楽寺までお申し込み下さい。

記  
日時 8月5日(木)  
落語 18:30~19:30  
ビアガーデン 19:30~21:00  
会場 安楽寺・ひかり幼稚園園庭  
会費 男性 1500円  
女性 1000円

昨年よりも参加費が上がっておりますが、昨年の経験をふまえて、適正会費を算出し、内容も充実を図っておりますので、ご了承下さい。お誘い合わせの上、ご参加下さい。

**安楽寺聖典改訂版発行**

安楽寺聖典の改訂版と、一回り大きい版で文字を大きくし見やすくしたA5判安楽寺聖典(¥800)ができました。

改訂版では初版の誤植の訂正と、4カ所程お経の意識が変更になりました。又表紙の紙の材質を強化して、初版よりも強いものにしたところが大きな変更点です。どうぞご利用下さい。

尚4カ所の訂正につきましては、初版の安楽寺聖典をお持ちの方には、訂正用のシールを貼っていただき、今まで通りご使用いただければと思います。

つきましては、安楽寺に訂正の説明と訂正シールを一つにしたものをご用意しておりますので、安楽寺聖典をお持ちの方は、お申し出下さい。宜しく願い申し上げます。



# 安楽寺法要案内

七月	安居会	日時 7月11日(日)朝・昼 講師 海谷真之先生 テーマ 「悪人こそがめあて」とはどういうことでしょうか
八月	降誕会	日時 8月13日(金)14日(土) 両日とも10:00~11:00 講師 信楽峻麿 前住職 テーマ 先祖の日に思う
九月	永代経	日時 9月18日(土)朝・昼 講師 藤井晃先生 テーマ 先に生まれんものは後を導き、後に生まれん人は先をとぶらえ



## 広島別院再建懇志ご報告

皆様のご協力により、下記の通り広島別院再建懇志が無事完納できました。ここに御礼とともにご報告を申し上げます。ありがとうございました。

依頼額 67万円  
進納総額 71万円(123件)

- 新井茂昭、有田順子、池田晴之、石井久雄、石井裕彦、井原章、入澤和子、上田憲司、畦野夫、浦田武夫、恵木かよ、大角マサエ、大谷宣孝、大林俊子、大前正清、小笠原康雄、小笠原慶充、岡田貴隆、岡本桂、岡本耕枝、岡本義和、小川マサエ、沖田イチエ、奥元トヨ子、小田豊、梶山豊也、片山ヒサエ、片山昌典、片山吉允、門井亮二、加藤利幸、門見宮一、金場義信、釜付浩一、釜友ハルコ、加門利信、川口佐和子、上林忍、北尾正人、吉川富子、木村雪雄、久保義、小泉小富、小出ウメ子、小浦建一、後藤明德、後藤弘道、小林初栄、斎藤邦栄、作本義正、満川光子、白井月星、新谷純子、進藤明弘、進藤美智子、鈴木茂子、鈴木康民、住森和雄、曾根勝久、空井哲子、竹中三郎、竹中シズ子、武信早苗、多田美枝子、田中修治、谷川敏子、田之上洋子、玉木啓一、玉木量子、近石正宣、寺上進、寺西良之、寺本清子、富田和代、富田寛和、中川賢治、中川静義、中川孝、中田希敏、中西十一、中原八重子、中宗正彦、中宗泰則、中村淳夫、中村一雄、中村禎之、中谷宏邦、新林ヒサヨ、西尾弘子、西田千代子、西村義晴、二宮巖、野崎博志、橋本穰、浜本洋身、松垣圭子、広一志、広田愛子、広田敏夫、藤井友紀、藤岡幸子、藤本満利枝、古川幸生、古本兼子、洞博美、益縣順子、益縣忠孝、増田朝美、松浦美智彦、水野伸生、三谷忠義、宮原ツヤ子、宮原嘉枝、森裕司、森原恒子、森本肇、八島弘子、安原聡子、山田義人、山本一朗、山本夏恵、吉田カズ子、善村幸雄(50音順)

# 憲 教育

信楽晃仁

日本の中枢である鳩山政権の支持率が下がりつばなしです。とうとう20%を切つてしまいました。政治とカネ、普天間問題、高速無料化、子ども手当と問題が山積しており、言うところは大違いでマニフェストも実現できず、期待を裏切られた支持者が離れていっています。

さてその中、私が特に注目したのは、先日発表された国民の幸福度です。現政権は国内総生産(GDP)にかわる指標としてこの国民の幸福度を取り入れるというのです。仏教国ブータンの政策を学んだのかと、たのもしく思ったのもつかの間、私の期待も裏切られました。

それは先日、新聞に文部科学省管轄の幼稚園と厚生労働省管轄の保育園を一本化して「子ども家庭省」を創設しようと言う記事が載っていました。そして最終的には現在ある幼稚園も保育園もそして認定子ども園もすべての施設を「子ども園」という名称にして、一体化しようという



のです。それによつて全施設が0歳から5歳までを預かることができます。

り、朝早くから夜遅くまでの長時間保育を可能にするのだそうです。このことが、広島県私立幼稚園連盟でも問題になりました。これは一つに都会の待機児童の解消、そしてもう一つはその子どもを預けることによつて、あなたお母さんの手、つまり女性の労働力を活用しようというハラなのだそうです。社会で子育てをしようというかけ声のもとに、子どもをすべて施設にまかせ、親を子育てから解放しようというのです。

まずここにある政策がむいている方向は、子どもではなく保護者であり有権者です。子どものことを中心に考えるのではなく、全ての都合が優先されています。政治は弱いものには向かず、強い者の機嫌をとるのです。それが今の日本です。またそれだけでなく現代の親は子どもを育てられなくなり、無責任に

なっている状況の中で、福祉、福祉といつて家庭教育をはじめとした教育をないがしろにしていけば、いよいよ子育てはできなくなりそうです。これからの日本の家庭、また親も子どもにします。確かにさまざまな事情で、保育に欠ける子を預かり、施設がその代わりをするということは大切です。しかし本当にそこまで日本は保育に欠ける子が多いのでしょうか。前任職が「教育は共育」といいますが、子育ての中で親も育つ事を忘れてはなりません。

子ども手当にしても、これによつて少子化が改善できるはずがありません。常に有権者の機嫌をとり、なんでも金で片を付けようという、政治とカネの域を出ないさもしい政策だとしか思えません。カネ、経済、物で幸福を求めるのならば、最終的に国民総生産を、国民総幸福度に言い代えただけで、何等今までとかわっていません。いやこれは今後いよいよ家庭をだめにし、家庭崩壊を招く悪政としか言いようがありません。

今後日本が幸せな日本を作るために、福祉によつて幸せを求めようと

するの、教育によつて幸せを築こうとするのか、その足場の違いが、今この政策にあらわれています。「国民の生存権を保障するため、貧困者や保護を必要とする児童・母子家庭・高齢者・身体障害者など社会的障害を持つ人びとに対する援護・育成・更生を図ろうとする」福祉は大切です。しかし何不自由のない生活をしているものに、一律に手当だ、保護だ、保育だという押しつけの福祉がまともな家庭までも崩壊させていくのです。

教育は自らが生きるとともに、人生を生かす道を教えます。それによつて築けるのが平和であり、そのためにどうすればいいかという事を考える人間形成をしていくのです。

仏教はその最たるものです。生涯の教育、いや一生涯というように短いものではなく、その生涯を越えてなお教育していこうというのです。死してなお教育を捨てないという、生死を超えた教育が仏教です。そこに仏教がめざす本當の幸せがあるのです。だから仏教国ブータンは世界屈指の幸せな国と言われるのです。

二人の精神的依り所は？

## 仏事の心

二人の精神的依り所は？

仏事の本で「結婚式」を取り上げると、中には違和感を覚える方があられるかも知れません。しかし結婚式も仏前で行えば、立派な仏事なのです。どうも仏事といえば、葬式とか年忌法要の印象が強くて「初参式」や「仏前結婚式」のイメージは思いつきません。

現在日本では神前での結婚式が圧倒的に多く、最近ではタレントの影響からか、キリスト教の式も見られます。ところが仏式は残念ながら、ごく限られた少数派です。

もつとも、神式にしろキリスト教式にしろ、宗教的信念に基づいて行っているのかと言えば、必ずしもそうではなさそうです。つまり、「どこぞの神社の祭神である 神を信仰しているから神式で行う」という方はまれでしょう。うし、キリスト教の信者でない人がいくつでも教会で式を挙



の依り所となつて下さる如来さまの尊前で、敬愛和合の日暮らしを誓い合うものです。

極端な言い方も知れませんが、結局、結婚するための「形づくり」としての式ではないかと思えます。式の形態が持つ印象とか雰囲気重視され、肝心の宗教的内容や宗教的尊厳性は希薄になりがちです。

しかし結婚式というのは、縁あつてめぐり会い結ばれた二人がともに手を取り合い、新たな人生を歩み始める出発点となる大切な儀式でしょう。単なる感覚的印象や雰囲気ではなく、二人の依り所となるしつかりとした精神的基盤のもとに執り行う必要があるのではないのでしょうか。仏前結婚式は、お二人の人生の共通の依り所となつて下さる如来さまの尊前で、敬愛和合の日暮らしを誓い合うものです。